

役員研修会開催へ

海コン部会 渋対委員も決定

兵ト協海上コンテナ部会(佐賀里隆之部会長)は1月15日、兵庫県トラック総合会館で役員会を開き、資質向上を目指して役員研修会の開催を決めた。新たに活動を始める渋滞対策委員3人も決定した。

佐賀里部会長(協栄運輸)は冒頭のあいさつで昨年12月に成立した改正貨物運送事業法を取り上げ「標準的な運賃が今後、示されることになっており、一

定水準のものが出てくると思うが、改正事業法には海上コンテナのことが触れられていない」と指摘、国土交通省など行政に経緯を質していく考えを強調した。

役員研修会は、部会をリードする役員自身が資質向上に努めるべきだとする佐賀里部会長の強い意向で開催が決まった。初回は海コン事業者と密接な関係にあるターミナルを運営する港運事業者など



兵ト協海コン部会の役員会

が講師の候補として挙げられた。

渋滞対策委員は、大ト協海上コンテナ部会や阪神港海上コンテナ協会などと協力して慢

性化しているターミナル前での渋滞を解消するため、専任委員を役員から選ぶもので、兵ト協部会では峰晴直行(産興運輸)、富永武志

(日本通運)、北井芳紀(国際コンテナ輸送)の3氏が選ばれた。

一方、阪神国際港湾が設置した六甲アイランドのコンテナ車両待機場について同部会が

協議の申し入れを行っていたが、阪神国際港湾は12月17日付で「協議の場を設置する必要はない」などと文書で回答してきた。これについて佐賀里部会長は

「神戸市みなと総局となるべく早く話が出来るよう申し入れていく」と述べ、阪神国際港湾ではなく神戸市との協議を模索する考えを示した。